

水飲み

聴力復活！

医師に見放された突発性難聴や 耳鳴りもたちまち回復した水飲み療法

アクア鍼灸療法 一掌堂治療院院長 藤井徳治ふじい とくじ

80歳の老人程度だった 41歳の聴力が正常化！

今回、私が皆さんにお勧めするのは、毎日大量の水を飲みながら鍼灸治療を受け、耳鳴りや難聴の改善を図る「アクア鍼灸療法」です。

私がこの療法を考案したのは、ある患者さんの質問がきっかけでした。「大量に水を飲んだら耳鳴りが治ったのですが、どうしてでしょう?」と聞かれたのです。内耳ないじにリンパ液がたまると、メニエール病や難聴などが起こります。また、耳鳴りや、耳の閉塞感、音割れ、めまいなどの症状も出て

きます。耳鼻科では、こうした場合、たまったリンパ液を排出するため、利尿剤を処方します。

そこで、私は考えました。利尿剤は、尿を出すことを促す薬です。ならば、大量に水を飲んで利尿作用を促せば、利尿剤を飲むのと同様の効果が現れるのではないかと。

水を大量に摂取すれば、尿が大量に出ます。尿が出れば、古いリンパ液が自動的に押し出されま

す。すると、リンパ液は新しくなり、耳鳴りや難聴が改善すると考えられました。そこで、私は実際に、難聴や耳鳴りに悩んでいる患者さんに、水

飲みを勧めると同時に鍼灸治療を行いました。そして、この方法は、

改善に確かな効果があるとうわかつたのです。以来、私は自分の治療院で、この「アクア鍼灸療法」を取り入れています。

次に、この療法によって症状が改善した体験例を挙げてみましょう。

1人めは、47歳の男性です。この男性は、1998年に、突発性難聴により左耳の聴力を失いました。2010年になると、今度は頼みの綱だった右耳の聴こえも悪くなってきました。これは、「遅発性内リンパ水腫すいしゅ」というもので、片耳に難聴が起こった後、問

題のない耳が聴こえなくなる難病です。

完全に両耳の聴力を失いそうな状況で来院され、鍼灸治療と並行して、1日2ℓの水飲みを続けました。すると、しだいに「今日は聴こえがいい」という日がふえ始め、状態はどんどん改善。2カ月後には、耳鼻科での聴力検査で、完全に聴力を回復したと確認できたのです。

2人めは、41歳の男性です。左耳が突発性難聴となり、耳鼻科を受診しても、聴こえはよくなるが、「80歳の老人くらいの聴力」しかありませんでした。

1カ月後には、医師から「もう

治らないかもしれない」との宣告を受け、耳鳴りも起こるようになってきました。

インターネットで私のところを知って来院。鍼灸治療を受けながら、1日2ℓの水を飲み続けたところ、耳鳴りがだんだん気にならなくなりました。半年後には、聴力は正常範囲内にまで回復していたのです。

3人めは、44歳の女性。このかたは、難聴が回復したのち、その後遺症ともいべき耳鳴りに悩ま

されてきました。それが、大量の水を飲み続けたところ、すっかり症状が回復しました。

4人めは、38歳の男性です。耳鳴りがひどく、軽度の難聴もありました。そこで、鍼灸治療と並行して、運動をしながら水を大量に飲んでもらったところ、たちまち聴力が回復。耳鳴りも気にならなくなると喜んでおられました。

1日1ℓから始め 少しずつ量をふやす

では、ご家庭でもできる水飲み

療法のやり方を説明しましょう。

飲む水は、ミネラルウォーターでも水道水でもかまいません。ただし、ミネラル分が豊富な硬水は、大量に飲むと下痢を起こしやすいので、注意が必要です。

「水の代わりにお茶でもいいですか」とよく聞かれますが、お茶はカフェイン、ジュースやスポーツドリンクは糖分を、とりすぎる心配があります。あくまでも、水を飲むことをお勧めします。

水はなるべく常温で飲んでください。冷たい水を大量に飲むと、

体を冷やしてしまいます。体温よりも温かい水を飲むことが望ましいでしょう。

最初は、1日当たり1ℓの水を飲むところから始めてください。慣れてきたら、少しずつ飲む量をふやしていきま

す。
夏は2ℓ、冬は1.5ℓの水を飲む

ことが目標です。お茶やコー

ヒー、スープ、みそ汁の水分は計算に入れません。1日2ℓというのは、水だけでとる分量とお考えください。

眠る2時間前には、1日の分量を飲み切るようにしましょう。眠る直前に大量の水を飲むと、夜中にトイレに行きたくなり、睡眠を妨げる心配があるからです。

さらに、水を飲みながら、利尿を促すツボを自分で刺激するといいでしょう。これによって利尿作用がより高まります。それは、足のかかとの真ん中にある「**失眠**」

というツボです。手でゲンコツを作ったときに突き出る関節を押すようにしてみてください。入浴中に押せば、効果的です。

なお、腎臓疾患、心臓疾患、肝臓疾患およびむくみがあるような人は、大量に水を飲むと、症状を悪化させるおそれがあります。始める前にそうした病気や症状がないかを確認してください。



なるべく常温で1日1ℓの水を飲もう!

水飲み

両耳の聴力を失う危機脱出！ 水飲み療法で完全に聴力が戻り 聴こえる喜びを実感

上海在住 ● 48歳 ● 会社役員
吉野 壽人 よしの まさと

耳鼻科で聴力の回復を確認！

私は、1998年に突発性難聴が起こり、左耳の聴力を失ってしまいました。それでも、まだ右耳が聴こえていたので、日常生活に支障を来すことはありませんでした。



「ほんとうにうれしい」と吉野さん

ところが、2010年、今度は頼みの綱だった右耳の聴こえも悪くなってしまったのです。耳鼻科に行くと、「遅発性内リンパ水腫」とのこと。この病気は、難聴が起こってから何年もたった後、問題がなかったほうの耳まで聴こえなくなってしまうというものです。

両耳が聴こえなくなれば、日常生活に大変な支障をきたします。私の場合は、そのときはまだ右耳の聴力は少し残っていましたが、相手に大きな声で話してもらわないと聴こえないし、会議に参加しても、議事内容が聴き取れないなど、困ることだらけでした。そのまま、完全に両耳の聴力を失って

しまつたらと思うと、絶望的な気持ちでした。

そんなとき、以前、ある友人が「ハリ治療で難聴が治るらしいよ」といつていたことを思い出しました。そこで、藤井徳治先生の一堂鍼灸治療院を訪れ、ハリ治療を受けることにしたのです。

すると、先生は「大丈夫、治療を続ければきつとよくなりますよ」といつてくださったので、どれだけほつとしたかわかりませんでした。

その日から1週間は、毎日ハリ治療に通いました。その後は週に2〜3回のペースで通い続けたのです。

それとともに、私が実行したの

は、水を飲むことです。先生によれば、1日に2ℓくらいの水を飲むと、内耳にたまったリンパ液を排出できるとのこと。その話を聞いて、私は耳が聴こえなくなるといふ最悪の状況を回避するため、必死で水を飲み続けたのです。

このようにハリ治療と水飲みを継続していたところ、あるときから、「今日は聴こえがいいな」と思う日が何度かありました。

その後、逆に聴こえが悪いと感じる日もありましたが、いつからか、聴こえがいい日が続くようになったのです。

私は並行して投薬治療のため耳鼻科にも通っていました。そして、水飲みを始めて2カ月後に耳鼻科に行ったところ、完全に聴力が回復していることがわかったのです。そのときはほんとうに喜びました。

投薬治療だけでなく、ハリ治療、水飲みなど、考えられるあらゆる方法を教え、施していただいたおかげで、聴力を失わずに済みました。

水飲み

1カ月の薬物治療が効かなかった 左耳の突発性難聴が 水飲み療法で完全に回復

東京都●42歳●会社員 武子雅直 たけし まさなお

耳鳴りはほとんど
気にならない！

2年前の2月のことです。朝食をとっていたとき、左の耳から聴こえる音と、右の耳から聴こえる音が違っていることに気づきました。おかしいなと思いましたが、そのうち治るだろうと会社に出か



1日に2ℓを目安に水を飲んだ

けたのです。

ところが、仕事をしていると、左耳が詰まった感じがだんだん増長していきました。そして、音の聴こえが悪くなっていつてしまっただです。

そこで、私はその日のうちに病院に行きました。すると、突発性難聴と診断されました。この場合、治療といっても薬物療法しかないとのこと。何種類かの薬を処方され、それを飲みながら、病院通いをするようになりました。ところが、薬をいくら飲んで、耳の聴こえがよくなることはありませんでした。全く聴こえないわけではありませんでした。医師によると「80歳の老人くらい

の聴力」ということでした。

1カ月たっても、聴こえは改善せず、病院では「もう治らないかもしれない」といわれる始末。なんでも、突発性難聴は、1カ月たつと固定してしまうのだそうです。しかも、そのころから耳鳴りも起こり、気持ちも落ち込んでいきました。

私は、別の病院も受診し、そこでは注射を打たれました。そのときは、耳鳴りが少し緩和したような印象もあるのですが、しばらくすると、またキーンという音が起こってくるのです。こんな状態では、仕事も手につかず、困惑するしかありませんでした。そんなときに、見つけたのが、

藤井徳治先生の「一掌堂鍼灸治療院」のホームページです。突発性難聴や耳鳴りが、ハリ治療でよくなった例が載っていたので、私はこの治療法にかけてみようと思ったのです。

早速、治療院でハリを打つてもらうと、耳鳴りの音がサーツというような静かな音に変わりました。私は、その効果に驚きました。藤井先生には「水をたくさん飲むとさらに効果的ですよ」と教わったのです。

それからは、1日に2ℓの水を飲むようにしました。また、2日に1度のペースで、ハリ治療にも通いました。すると、耳鳴りがほとんど気にならないくらいに治まってきたのです。それとともに、左耳の聴こえもよくなりました。

そして、水飲みを始めて半年後くらいに、耳鼻科で聴力検査をすると、なんと聴力が正常範囲内に改善していたのです！

私は、症状がぶり返さないように、今も水を飲み続けています。